

仕事・家庭における男女共同参画推進【京都市】

総事業費	574 千円
交付金額	275 千円

地域の実情と課題

【実情】
 ・本市における年齢階級別の女性の就業率は、30～34歳で最も高く、35～39歳以降で低下し、40～54歳で回復しており、いわゆる「M字カーブ」の傾向がはっきりと見られる状況にある。
 ・京都府内企業において、男性社員の育児休業取得率は10.0%と、全国水準(12.65%)を下回っている。

【課題】
 ・京都においては、少子高齢化や人口減少が進行する中、女性の就業状況や男性の育児休業取得率は全国平均・水準を下回り、女性管理職の割合は全国水準を上回るものの、第5次男女共同参画基本計画の成果目標達成には更なる伸長が必要である。

目的・目標

【目的】
 働きたいという希望を持ちながらも働くことができない女性や職場でのステップアップを希望する女性等、自らの意志によって働き、または働こうとする女性がその思いを叶え、ひいては、男女がともに多様な生き方・働き方を実現することにより、ゆとりがあり、豊かで活力あふれ、生産性が高く持続可能な京都を目指す。

【目標】
 ①京都府内における男性の育児休業取得率(京都府独自調査)30%⇒実績36%
 ②事業の参加者数 100名⇒実績78名

事業の特徴

①夫婦の育休復帰・家事育児参画講座
 女性が男性に比べて家事育児の多くを担っている現状を踏まえ、家事育児を男女が分担することで、女性は育休後に安心して職場復帰ができ、また男性は家事育児を自身の日常生活の一部として捉えられるよう啓発する内容の講座「ワーキングペアレンツに贈る子育て応援セミナー～育児・育休期間をチカラに変える！」を開催した。

②女子学生の正規雇用のための能力開発等キャリア形成支援
 今後就職する女子学生を対象に、正規雇用に着くとともに、結婚や出産等のライフイベントを迎えても就業継続するイメージを持って職業生活をスタートできるよう、ロールモデル女性から学ぶ内容の講座を開設。

連携団体

<「輝く女性応援京都会議」構成団体>
 京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所、京都商工会議所女性会、京都府商工会議所連合会、京都府商工会議所女性会連合会、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都府中小企業女性中央会、京都経営者協会、京都経済同友会、京都工業会、京都府商工会女性部連合会、日本労働組合総連合会京都府連合会、国際ソロプチミスト京都、国際ゾンタ京都クラブ、大学コンソーシアム京都、日本政策金融公庫、21世紀職業財団関西事務所、京都府男女共同参画センター、京都市男女共同参画センター

事業の効果

夫婦の育休復帰・家事育児参画講座では、仕事と子育てに課題を抱える夫婦の不安軽減や前向きに考えるきっかけづくりができた。
 学生向けセミナーでは、受講することにより、ライフイベントを通じた働き方の転換や意識の変化をより現実的なものとして捉え、自身のキャリア形成に柔軟なイメージを持つことができた。

今後の課題

学生向けセミナーは、女性ロールモデルからの話を聞く場として、女性のエンパワーメントとしての役割を果たしてきたが、女性の社会進出が一定広がった現在においては、経験談の共有のみならず、企業の制度紹介等、より具体的に自分のキャリアを考えられるような講座が望まれる。
 夫婦の育休復帰・家事育児参画講座は、子育て所管部署やSNS等で広報を行ったが、参加定員を満了することはなかった。妻からの誘いで参加した夫婦が複数組あり、夫側への周知として企業向けへ広報活動する等、周知方法を改めて検討する必要がある。

事業の概要

■ワーキングペアレントに贈る子育て応援セミナー(育児・育休期間をチカラに変える！)

開催日時 第1回 令和6年6月22日(土)
第2回 令和6年7月6日(土)
第3回 令和6年9月8日(日)

会場 京都市男女共同参画センター ウィングス京都

参加者数 延べ52人

内容 女性が男性に比べて家事育児の多くを担っている現状を踏まえ、家事育児を男女が分担することで、女性は育休後に安心して職場復帰ができ、男性は家事育児を自身の日常生活の一部として捉えられるよう啓発する内容の講座を開催した。

第1回 子育てが楽しくなるコミュニケーション術

第2回 子育てをキャリア、仕事に活かす

第3回 子育て中のタイムマネージメント

講師：赤坂美保氏(子連れMBAファウンダー)

岩谷けいこ(ライフキャリアコーチ)

岡野優子(子育て世代のキャリア支援団体ドゥマビ代表、株式会社堀社員、平安女学院高等学校講師)

第2回ゲスト：吉田雄史氏(鉄道会社の総合職)



■女子学生向けセミナー(「私が私らしく生きるために選択してきたこと」～キャリアとライフイベント～)

開催日時 令和6年7月10日(水)

会場 京都光華女子大学講義室

参加者数 延べ26名

内容 今後就職する学生を対象に、女性が結婚や出産等のライフイベントを迎えても就業継続するイメージを持って職業生活をスタートできるよう、仕事で活躍するロールモデル女性から今後のキャリアデザインについて学ぶ講座を開催した。

モデレーター：円城新子氏(株式会社ユニオン・エー代表取締役社長)

ロールモデル：鈴木毬乃氏(株式会社ユニオン・エー ディレクター)

山本夕紀氏(日本生命保険相互会社京都営業部支部長補佐)